



ハーバーライト(大津、9/1) 第12回の今年は、「よう・そろー」のイベント広場でおこなわれました。日中は各種模擬店、そして夕方から市民合唱団や、地元出身の男声デュオ、アフリカの民族楽器をも操るジャズバンドの演奏。たくさんの市民が聴き入り、打ち上げ花火がフィナーレを飾りました。

# コンサート

## ウエストサイド(磯原、9/2)

第19回のサマーイブニングコンサートが磯原町の常陽銀行前で開かれました。障がい者グループの発表や子どもたちのチームによるジャズダンス、そして前日のハーバーライトコンサートにも出演した中村達也バンドのジャズ演奏と楽しい演奏がつづきました。



### 資格証明書 (保険証取上げ)

## 「機械的に発行する考えはない」

後期高齢医療協議会で日本共産党の質問に答弁

茨城県後期高齢者医療広域連合議会の定例会が8月27日、水戸市内で開かれ、これは、来年4月から始まる後期高齢者(75歳以上)を対象にした医療制度について審議する議会です。(下表と解説参照)

厚生労働省によれば、後期高齢者医療保険料を半年滞納したら短期保険証、1年で資格証明書をそれぞれ発行するとしています。これについて、同日の広域連合議会で事務局は「1年の滞納で機械的に資格証明書を発行する考えはない。市町村と連携して慎重に対応する」という考えを明らかにしました。



日本共産党  
北茨城市委員会  
磯原町豊田(030-2)  
43-0468(福田)  
42-2462(鈴木)

毎週 日曜日発行

お問合せは上記へ

日本共産党の中庭次男議員(水戸市議)が「資格証明書になると医療費全額を支払うことになる。高齢者に病院にかかるなどという制裁処置だ」と質問したのに対し、黒川英治事務局長が答弁したものです。同事務局長はまた、県内で保険料徴収対象者が約33万人になると説明。中庭議員が同広域連合独自の減免制度を求めたのに対し、黒川事務局長は「現在はおく(減免制度を設ける考えは)持ち合わせていない」という姿勢を示しました。

この日までに600人を越える署名を添えて提出された県社会保険推進協議会の「後期高齢者医療制度についての請願」は継続審議になりました。

広域連合議会の構成 (定数22名)

- 市長：8名
- 町村長：3名
- 市議：8名
- 町村議：3名

（解説）後期高齢者医療制度の発足にともなって、新しく県域単位で設置されたのが広域連合議会、定員は22名。構成は右表のとおりで、それぞれ区分ごとに選挙で選ばれます。

第1回の選挙には、日本

## ご相談はお気軽に



市議会議員  
鈴木やす子  
☎42-2462



市議会議員  
福田 明  
☎43-0468

「北茨城民報」はインターネットでもご覧いただけます。  
<http://www.jcp-ktib.com/>

編集部では身近な情報をお待ちしています。

## 9月定例市議会ははじまる

一般質問  
10、11日

9月4日より、第3回定例市議会が開かれています。きたる10日月曜、11日火曜の二日間の予定で一般質問がおこなわれます。今回は、11名の議員が質問通告を出しています。

日本共産党の福田明議員は3番目、鈴木康子議員は6番目で、いずれも初日に登壇となる見込みです。福田議員は税金収納強化、市

共産党からかすみがつら市議の佐藤文雄氏が立候補し、トップ当選したことは本紙(6月3日号)でもお伝えしています。

その後、4月の統一地方選のさいに退職した議員の補欠選挙があり、やはり党派をこえた支持を得て、水戸市議の中庭次男氏が当選しました。佐藤議員とともに日本共産党は2議席で、議会ごとに発言し、独自に報告を出しています。

長交際費の公開、企業誘致、市立病院問題などについて、また鈴木議員は教育費の増額、平和事業の具体化、学校給食などの質問項目をあげています。

前号でもお知らせしたとおり、今議会から一問一答方式が導入されることになっており、「どんなやりとりになるのか楽しみだ」との市民の声も聞かれます。